

クレーマー・システムズ社

## Tier1、2を中心に欧州や米国、アジア太平洋地域を含む全世界80社以上の事業者を支えています

英国に本社を置くクレーマー・システムズ（Cramer Systems）社は、世界の通信事業者向けのインベントリによるバックオフィス・オートメーション・ソリューションの有力プロバイダーである。ここでは、2005年12月に来日された同社の社長兼最高経営責任者であるギー・デュボア（Guy Dubois）氏に、クレーマー・システムズ社の製品の優位性や次世代ネットワークに向けた取組み等について伺った。



クレーマー・システムズ社  
社長兼最高経営責任者  
ギー・デュボア氏

はじめに、クレーマー・システムズ社（以下、クレーマー）について、ご紹介いただけますか。

**ギー・デュボア氏（以下、GD）**

クレーマーは、サービスプロバイダーが抱える問題に取組み、再利用可能なソフトウェア製品を開発することを目的に、1996年に設立されました。当時は、サービスプロバイダーの多くが独自でソフトウェアを開発して、大規模で複雑な分散型通信ネットワークの変更をどのように管理するかという問題に対応していました。そして、当社がこの問題に取り組み始めた当初は、固定回線通信と移動通信というネットワークテクノロジーの登場など、問題は増大する一方でした。しかし、当社と顧客は、この問題に対応して成果をあげていきました。その中には、当社のシステムを利用して、世界の通信業

界で最も大掛かりなネットワークおよびビジネスの移行プログラムをサポートするプロジェクトもありました。以来、強固で高品質なソフトウェアアプリケーション開発における長年の経験と豊富な実績のもと、「テレコム業界の経済を変える」というビジョンを持った優秀な集団へと成長しています。

**クレーマー製品の特長について、お聞かせください。**

**GD** 当社の代表的な製品である「Cramer5」は、通信事業者向けにリリースされた世界でも有数の強力なインベントリ・パワード・バックオフィス・オートメーション・システムです。本製品により、サービスプロバイダーは、ネットワークシステム変更時に伴う多くのプロセスを自動化し、より効率的にリソース管理

を行うことができるようになります。また、個別のサービスフルフィルメントから、大規模なネットワークプランニングやネットワークプロビジョニングまで実現することが可能です。さらに、ネットワークシステムを変更するための多くの業務プロセスや技術プロセスは、Cramerのアプリケーションで自動化でき、ネットワークやサービスの設定情報は、自動的に保存されるので安全です。

**他製品と異なる点はどこでしょうか。**

**GD** 単一のアプリケーションでプロセスの自動化だけでなく、保存された情報を実際のネットワークへ正確に反映することを確実に実行できることがあげられます。サービスプロバイダーは、この機能をさまざまな用途に使用することができます。その用途は、比較的単純なネットワ

ークインベントリマネジメントやサービスマネジメントから、本格的な全社向けのサービスフルフィルメントやサービスアシュアランスの自動化など、広範囲にわたります。

現在、クレマー製品は、世界中のサービスプロバイダーに採用されていますが、代表的な顧客をお聞かせください。

**GD** クレマー社の製品は、Tier1、2を中心に、BT、Vodafone、KPN、Bell Canada、TELMEXなど、欧州、米国、アジア太平洋地域を含めた80社以上のサービスプロバイダーに採用されています（図1参照）。例えばBTは、当社の長年にわたる顧客ですが、いくつかの成功プロジェクトを通じて、BTが掲げる、おそらく今日最も大掛かりな電話網の移行計画である「21世紀ネットワーク（21CN）」プログラムにおい

て、不可欠な役割を果たしています。

クレマー製品は世界中のサービスプロバイダーに採用されていますが、その理由として、どのようなことが考えられますか。

**GD** 市場における激しい競争や顧客の統合サービスに対する要求の高まりなどから、現在、固定網事業者は中核ネットワークをIPベースのインフラに移行させるよう検討を迫られています。そこには多くの課題が待ち受けており、利用するOSSプラットフォームはその移行プロセスにおいて重要な鍵を握っています。

クレマーはIP向けに幅広いサポートを提供する製品を用意し、オペレータの移行プロセスを支援しています。当社の製品には、実績のある3Gサービス向けネットワークのロールアウトのための自動化ツール

が組み込まれており、迅速な移行を行うことができます。つまり、新しいネットワークにおけるコストの削減というメリットと、ネットワークの二重運用を最小限に抑えることができるのです。

最近では次世代ネットワーク（NGN）に対応した取り組みも進めているそうです。

**GD** 次世代ネットワークでは、単に移行のことばかりではなく、新しいサービスについても考える必要がありますので、当社では、ネットワーク容量に関する事前のコンフィギュレーションや次世代サービスの予約に関する独自の機能性を提供しています。但し、当社の製品は、NGN用だけに独立して動作するものではなく、むしろ、旧世代の回線の仕組みを理解し、さらにネットワーク・イベントや顧客向けのトラブル・チケットを新旧のネットワーク双方に対してマッピングする能力があるので、このような混在環境においても顧客に対するSLA（サービス・レベル・アグリーメント）を維持していくことができるのです。



図1 世界80社以上におよぶクレマー・システムズ社の導入実績

クレマー・ジャパン株式会社  
〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-5-1  
大手町ファーストスクエア  
イーストタワー4F  
TEL：03-5219-1290  
FAX：03-5219-1201  
URL：http://www.cramer.jp/